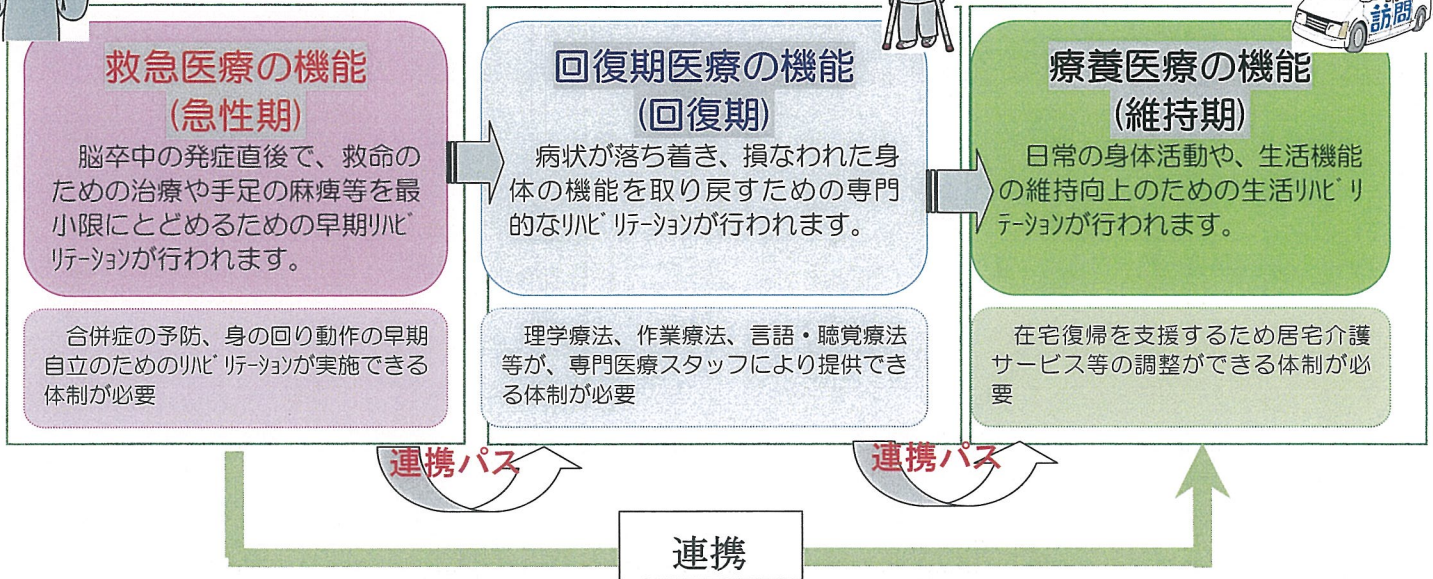


# 南河内地域 脳卒中の医療連携



○脳卒中を発症したら、発症直後の**急性期**、リハビリテーション中心の**回復期**、病状が落ち着く**維持期**、の各段階で、**専門の医療機能**（得意分野）をもつ病院で治療を受けることが回復への早道です。

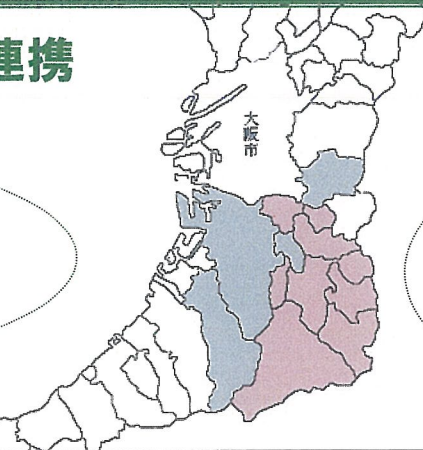


## ★地域の医療機関が連携するのは何のため？

○患者さまに、切れ目のない質の高い医療サービスを提供するためです。医療の専門化が進む中、南河内地域では、**医療機関同士、そして地域の診療所や介護関係機関がしっかりと連携して、この地域で安心して医療・福祉等のサービスを受けていただける体制を作りたいと考えています。**

## ★南河内脳卒中地域連携パスって何？

医療機関連携のためのツールの1つ(共通の診療計画書)です。



## ★パスを使うメリットは？

- ・治療内容や治療計画が引き継がれ、**治療の継続性が保たれます。**
- ・均質な説明が受けられます。
- ・入院期間が短くなります。

### 連携医療機関

松原市	明治橋病院	富田林市	富田林病院、金剛病院	南河内圏域医師会
藤井寺市	田辺脳神経外科病院、青山病院	河内長野市	大阪南医療センター	南河内圏域歯科医師会 等
羽曳野市	城山病院、藤本病院	大阪狭山市	近畿大学医学部附属病院、さくら会病院、青葉丘病院	
八尾市	八尾はあとひる病院		榎本病院	
堺市	日野病院、近畿大学医学部堺病院	和泉市	いぶきの病院	